

組織委員会主催：代表者意見交換会報告 報告：理事・高橋

6月18日（日）13:00 受付、13:30-16:30 浦和コムナーレ10F 開催する

理事を含め24名で3班に分かれて以下のテーマで意見交換をしました。

それぞれ活発に討議し時間いっぱいまで意見が出てまとめるのが大変でした。

1 会員の加入状況

試行錯誤で募集する ネット、会山行等で募集するが、既存の会員が高年齢により増えた分リタイヤするので年間にすると変わらず減る傾向 平均年齢65歳位
公開バスハイクで会員募集する（某会昨年3人入会しました）。

2 特徴的な取り組み

埼玉県の出発場その山のパンフレット作成し名刺と一緒に一般のハイカーに手渡す
地域のコミセン祭りで募集の声掛けをして昨年1名が入会しました。

交通機関で苦労し特にバスハイク（諸事情によりマイカー山行に切り替える）

定例会できちんとやる（学習会、山行計画、リーダー育成）定例会ができない会は
定期的に飲み会を設けて飲ミニケーションして親睦を図っております。

3 会の運営上での苦労、問題点

後継者が育たない運営委員等（任期を決める）西部ブロックでもそうですブロック長
一年交代、しかも年間4つの行事（交代で担当者を決めて行事をこなして）

若い人が入るが運営には関わらない。仲間がいないと退会する傾向にあります。

会員が定着しないからできるだけミニ講習会を例会で計画して技術の向上をめざして
会の交流を行っております。

その他

山行に行った際には会の紹介カードを配り（埼玉の山）会拡大をしています。

新人会員の年齢制限等を設けて会の年齢層が上がらない対策を考えております。

若い人は組織化を嫌う傾向があるため、単なるハイキングだけだとすぐ飽きてしまうため、岩ネット、沢ネット クライミングなど若者が興味を示す方向を考えて県連のネットワークを活用して専門的な技術知識が身につく技術的交流を集中的にやれないか！！などの意見が出ました。。。。。